

【企業】2025年度 大学

「学習成果に関わる外部評価

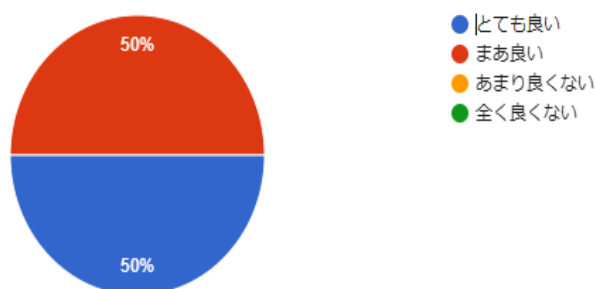
—学位プログラムの学修評価を把握するための企業調査— 回答

2025.9.2

◆ 外部評価（企業）

回答者については就職実績のある企業より6社選抜し、合計6社の参加をいただいた。

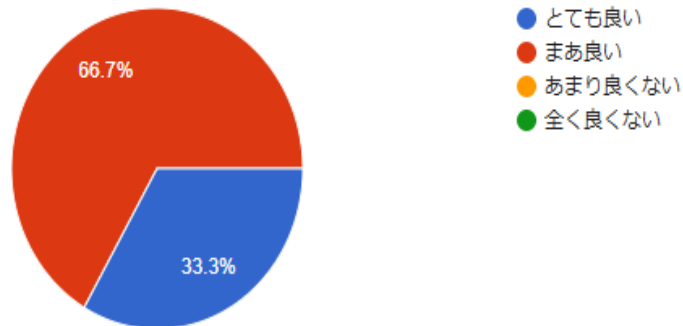
◆ 問1 学修の段階や年次構成について



◆ 問2 上記の問1の答えを選んだ理由について教えてください

- ・年次に応じ、段階的に学習することができる点を見て判断しています。
- ・必要な内容が網羅されていると感じた為
- ・私の担当以外は知らないことなので、なんとも回答できないです。以下の設問についても同様のものがあります。
- ・1.2年次では基礎を固め3.4年次で応用的なスキルを学べる点に魅力を感じたため。
- ・学校の風土に適していると感じた為。
 - ・基礎から専門へと段階的に学べる構成は理解しやすく、教育の流れとして適切に整っていると感じます。全体として学生の成長を支える仕組みになっていると思います。

◆ 問3 科目内容について



◆ 問4 良いと評価できる点があれば教えてください

- ・ 個の能力を磨くことが出来る点において評価
- ・ 実際のところまでは判断しきれないが記載の内容を見る中では充実した内容だと感じます。
- ・ 一般の事業会社の人が講師になって、リアルな社会を教えるのはとても良いと思います。
- ・ 服飾の技術に関わる分野からファッションビジネスまで幅広い選択肢の中から学生が主体的に自分の希望するコースに進める点に環境の良さを感じられるため。
- ・ 貴校から入社した学生が活躍している為。
- ・ 基礎から専門まで幅広く学べる内容で、実務に直結するスキルも習得できる構成になっていると思います。当社でも産学連携を通じて興味を持った学生を即戦力となる人材として採用できており、カリキュラムの実践性は高いと感じます。

◆ 問5 改善が必要、あるいは不足していると感じられる点があれば教えてください

- ・ 特にありません。
- ・ 縦軸での教育は秀逸です。一方で横軸との連携が見え辛いように感じました。
- ・ 弊社で実施させていただいた三越伊勢丹さんとの産学連携プロジェクトにおいては、新宿スタジオでの実習などは、もっとまとまった時間（半日＝4時間）以上の拘束ができると良いのですが。実際の社会人は8時間の労働時間です。その体験ができた方が良いのですが、授業は1.5時間ごとに小間切れで、学生もアルバイトなど自分の時間を作っているのが難しいとは思いますが。
- ・ 特にございません。
- ・ 年次後半の学年の科目情報や実践内容の詳細が公開されるとさらに理解が深まりますが、当社としては産学連携に興味を持って入社選考を受け採用した学生も実務でしっかりと活躍しており、貴校のカリキュラムの実践性は十分に感じています。

◆ 問6 その他、お気付きの点があればご記入ください

- ・良くも悪くも学問の要素が強いように見受けられました。
- ・特にありません。
- ・特になし
- ・御校の生徒の皆様は、ファッション産業に対する情熱と専門性を持ち合せていることに加えて、服飾に特化した実践教育を行われている点から実践スキルの高さも十分にお持ちだと存じています。今後も御校の生徒の皆様に向けて当社の魅力を伝えられる機会がありましたら幸いです。どうぞよろしく願いいたします。
- ・特にございません
- ・特にございません

◆ 問7 他大学出身の学生と比較し本学卒業生の良いと感じる点

- ・真面目な方が多いです。
- ・一般的な大学と比較をすると、服飾に関して専門的な知識を有している点
- ・能動的な学生は、とても能動的だと思います。特別に主体性がある子の割合が高いと思います。もちろん受動的な学生（講義中に寝てしまうなど）も相応にいらっしゃいますが、予想の範囲内です。
- ・ファッションが好きという気持ちを大切に、仕事に真面目に取り組んでいる点です。
- ・弊社への興味が深い。よく企業研究を行っている。
- ・実務に直結するスキルや知識が早い段階で身につけており、服飾業界の現場で即戦力として活躍できる点が優れていると感じます。産学連携などで実践的な経験を積んでいる学生も多く、自主性や課題解決力の高さも目立ちます。

◆ 問8 他大学出身の学生と比較し本学卒業生で不足していると感じている点

- ・特にございません。
- ・率先して前に出る印象は薄い傾向があります。（個人差はあります）
- ・特に感じません。
- ・特にありません。
- ・ファッション領域における専門性や課題解決力は高いですが、業界外の課題や異分野の大学や企業との連携に関する経験は、やや限定的で、幅広い視点での対応力をさらに伸ばせる余地があると感じます。

◆ 問9 在学中に学生が身につけて欲しいと考える資質や能力について

- ・ 共同・協同する考えやその上で身に付く力
- ・ 社会、ビジネスとのかかわり方とチームで動くことの重要性を身に付けて欲しいです。 スキル・能力は社会人になってから十分身に着くと思います。
- ・ 社会人として仕事に対する忍耐力
- ・ 周りを巻き込む力、コミュニケーション能力
- ・ 人に興味を持つこと。
- ・ 服飾業界で即戦力として活躍できる専門知識や技術はもちろん、主体性・課題解決力・チームでの協働力、さらに業界外の課題にも柔軟に対応できる幅広い思考力を身につけてほしいと考えます。

◆ 問10 広く人材として貴社が重視している点について教えてください

- ・ 提案力のある人材
- ・ 他者を巻き込みながら主体的に行動を起こしていく力と、それを実現するためのコミュニケーション能力、専門職においては加えて技術力やセンス
- ・ 予測と連携ができること
- ・ 同上です。（※社会人として仕事に対する忍耐力）
- ・ 自分の好きを追求し、他人の好きに興味を持つこと。
- ・ ファッションへの情熱やホスピタリティ精神を持ち、自ら課題を見つけて主体的に行動できる人材、チームで協力しながら成果を出せる人材を重視しています。また、変化に柔軟に対応し、課題解決力や粘り強さを発揮できることも重要です。

◆ 問11 今後ファッション業界でどのような知識やスキルが必要になるとお考えですか

- ・ デジタルスキル・AI活用能力
- ・ 不確実な未来に対して柔軟に対応できるスキルや、ファッション業界だけに限らずAI等新しい技術を使いこなす知識
- ・ 自分で正しく判断できること。
- ・ デジタルスキルです。ファッションテックの進化により、テクノロジーへの理解が重要だと考えます。
- ・ 語学力、AIなど新しい知識を習得する力
- ・ ファッション業界では、基礎的なデザイン・素材・縫製の知識に加え、デジタルツールやEC・マーケティングの理解、サステナビリティや環境への配慮、顧客体験を向上させる接客・ホスピタリティ力など、幅広いスキルが求められると考えます。また、課題解決力やデータ活用力、異分野との連携力もますます重要になると感じています。

◆ 問 12 今後どのような人材育成や教育が必要になるとお考えですか

- ・個が重視される時代だからこそ、組織に馴染む人材であることが重要になると考えます。
- ・マインドとスキルの両立 社会に出て柔軟に活躍できる意欲と意識 業界に限って言えば、服飾に関するあらゆる知識をしっかりと蓄えて欲しいと思います。
- ・今後 AI が更に浸透するので、これまで以上にきちんと判断できる経験とスキル、考え方を持つことが重要だと思います。
- ・デジタルリテラシーの強化です。業界全体のデジタル化が進む中で、IT やテクノロジーに強い人材の育成が欠かせないと考えます。
- ・問 11 の部分は必要と感じます。（※語学力、AI など新しい知識を習得する力）
- ・専門知識・技術を基礎から段階的に学べる教育に加え、デジタルやサステナビリティなど業界の変化に対応できる力、課題解決力やコミュニケーション力を伸ばす実践的なプログラムが重要です。さらに、異分野との連携や産学連携の機会を通じて、即戦力かつ柔軟に対応できる人材を育成することが求められると考えております。

◆ 問 13 本学では現在、①画像生成 AI やファッションテック等のデジタルスキル、②産学連携等の企業連携による実践型教育、③ファッション 3D モデリング (CLO) 等のカリキュラム④ビューティ&ウェルネスを強化しております。この点に関して、ご意見やアドバイスをお願い申し上げます。

- ・弊社では、JUNKOSHIMADA ブランドを擁しておりますので、産学連携の取り組みは是非ともお話しできればと思います。
- ・①③は必ず必要になってくる技術ですので、学んで頂く価値があると思います。まだまだ社会や企業で活用されきっていないので、今後の産業としての成長にも期待しています。②今後ますます活性化していくと思いますので良い取り組みだと思います。④弊社でも強化をしている分野になります。広くファッション産業と捉えると期待が高い分野だと思います。
- ・問 12 の回答と同様です。（※今後 AI が浸透するので、これまで以上にきちんと判断できる経験とスキル、考え方を持つことが重要だと思います）
- ・貴学の取り組みは、デジタル × 実践 × 感性 × 健康という、今後のファッションを形づくる多面的な要素をバランス良く網羅しており、非常に先進的です。今後はそれらを横断的に結びつける教育設計が進むと、より革新的な人材育成が可能になると考えます。
- ・どれも今後のファッション業界において必要なスキルと感じております。
- ・特にございません

◆ 問 14 その他ご意見やアドバイスをご記入ください

- ・ 特にありません。
- ・ 先述の通りです
- ・ グローバル展開や多文化理解が不可欠な時代において、海外ブランドや学校、デザイナーとの連携を深めることで、国際感覚や言語力を育てる機会がさらに広がると考えます。
- ・ 特にございませぬ。
- ・ 特にございませぬ

以上